

## 監査公表第8号

地方自治法第199条第7項の規定により実施した出資団体監査の結果に関する報告を決定したので、同条第9項の規定に基づきこれを公表します。

平成31年(2019年)3月29日

城陽市監査委員 川村 和久

城陽市監査委員 谷 直樹

### 平成30年度(2018年度)出資団体監査の結果について

#### 第1 監査の種類

地方自治法第199条第7項の規定による出資団体監査

#### 第2 監査の対象

株式会社 サンガタウン城陽

[市所管部局：教育委員会事務局 文化・スポーツ推進課]

#### 第3 監査の対象期間

平成27年(2015年)4月1日から平成30年(2018年)3月31日まで

#### 第4 監査の実施期間

平成30年(2018年)12月14日から平成31年(2019年)3月27日まで

[実地監査日：平成31年(2019年)2月12日]

#### 第5 監査の手続

株式会社 サンガタウン城陽(以下「サンガタウン城陽」という。)の出納その他の事務が、法令等に基づき適正かつ効率的に行われ、また市の所管部局の指導監督が適切に行われているかを主眼として実施した。

監査の実施にあたっては、事前に関係調書の作成と帳簿類の提出を求め、計数等に係る具体的根拠の確認を行った。当日は、財務担当税理士の同席のもと、サンガタウン城陽の責任者等から、これら調書から抽出した項目に関し、また、市の所管部局の職員からは、サンガタウン城陽の事業展開にあたっての補助金の交付及びこれまでの経過等の説明を聴取した。

#### 第6 監査の結果

サンガタウン城陽の出納その他の事務及び市の所管部局の指導監督については、抽出による監査を行った結果、おおむね適正であると認められた。監査対象の概要及び監査の結果については、次のとおりである。

## 1 監査の概要

### (1) 設立目的

サンガタウン城陽は、平成9年(1997年)10月9日に設立され、京都サンガF.C.の練習場を本市のスポーツ施設として位置付け、これらを活用したまちづくりを積極的に推進し、幅広い市の活性化や、文化、青少年健全育成等を図ることを目的としている。

### (2) 所在地

サンガタウン城陽の事務所の所在地は、城陽市平川野原64番地である。

### (3) 事業

定款では、サンガタウン城陽は、次の事業を営むことを目的としている。

- ① スポーツ施設の賃貸
- ② スポーツ施設に関する計画、設計、施工、管理並びに運営
- ③ スポーツその他の催事の企画、運営
- ④ 施設内広告代理業務
- ⑤ スポーツ用飲料水並びにスポーツ雑貨品の販売
- ⑥ 前各号に附帯する一切の業務

### (4) 資本金

86,000,000円

### (5) 発行済み株式総数

860株(1株100,000円)

このうち城陽市は、400株(40,000,000円)を保有している。

### (6) 組織(平成31年(2019年)2月12日現在)

(株主及び役員等)

株主	4名	代表取締役	1名	
		取締役	5名	
		監査役	1名	
┆				
			アルバイト(総務事務)	1名

### (7) 平成29年度(2017年度)事務事業の実施状況

施設賃貸事業

## (8) 収支の状況

【平成27年度】

## 貸借対照表

平成28年3月31日現在

単位：円

資 産 の 部		負 債 の 部	
科 目	金 額	科 目	金 額
<b>【流動資産】</b>	<b>【 5,226,069 】</b>	<b>【流動負債】</b>	<b>【 3,159,097 】</b>
現金	6,448	未払費用	2,020,000
預金	5,219,621	未払法人税等	206,000
<b>【固定資産】</b>	<b>【 94,470,569 】</b>	預り金	263,197
(有形固定資産)	( 44,320,569 )	未払消費税	669,900
建物	8,040,115	<b>【固定負債】</b>	<b>【 8,252,000 】</b>
建物附属設備	2,547,395	長期借入金	8,252,000
構築物	33,584,852	負債合計	11,411,097
工具器具備品	148,207		
(投資その他の資産)	( 50,150,000 )		
出資金	150,000	純資産の部	
差入保証金	50,000,000	<b>【株主資本】</b>	<b>【 88,285,541 】</b>
		資本金	86,000,000
		(利益剰余金)	( 2,285,541 )
		繰越利益剰余金	2,285,541
		純資産合計	88,285,541
資産合計	99,696,638	負債及び純資産合計	99,696,638

【平成27年度】

損益計算書

自 平成27年4月 1日

至 平成28年3月31日

単位：円

科 目	金	額
【 売 上 高 】		
設 備 賃 貸 収 入		48,611,136
売 上 総 利 益		48,611,136
【 販 売 費 及 び 一 般 管 理 費 】		
広 告 宣 伝 費	18,519	
通 信 費	83,831	
修 繕 費	92,593	
減 価 償 却 費	4,357,014	
賃 借 料	43,036,893	
事 務 用 品 費	4,546	
租 税 公 課	118,548	
諸 会 費	60,400	
交 際 費	42,081	
雑 費	1,061,921	48,876,346
営 業 損 失		△ 265,210
【 営 業 外 収 益 】		
受 取 利 息	1,050	
受 取 配 当 金	7,000	
雑 収 入	1,385,010	1,393,060
【 営 業 外 費 用 】		
支 払 利 息 割 引 料		111,256
経 常 利 益		1,016,594
税 引 前 当 期 純 利 益		1,016,594
法 人 税 等		206,000
当 期 純 利 益		810,594

【平成28年度】

## 貸借対照表

平成29年3月31日現在

単位：円

資 産 の 部		負 債 の 部	
科 目	金 額	科 目	金 額
<b>【流動資産】</b>	<b>【 7,211,559 】</b>	<b>【流動負債】</b>	<b>【 1,109,215 】</b>
現金	1,676	未払法人税等	206,000
預金	7,151,305	預り金	263,115
未収入金	58,578	未払消費税	640,100
<b>【固定資産】</b>	<b>【 90,458,495 】</b>	<b>【固定負債】</b>	<b>【 7,184,000 】</b>
(有形固定資産)	( 40,308,495 )	長期借入金	7,184,000
建物	7,238,993	負債合計	8,293,215
建物附属設備	2,179,886		
構築物	30,800,609		
工具器具備品	89,007	純資産の部	
(投資その他の資産)	( 50,150,000 )	<b>【株主資本】</b>	<b>【 89,376,839 】</b>
出資金	150,000	資本金	86,000,000
差入保証金	50,000,000	(利益剰余金)	( 3,376,839 )
		繰越利益剰余金	3,376,839
		純資産合計	89,376,839
資産合計	97,670,054	負債及び純資産合計	97,670,054

【平成28年度】

損益計算書

自 平成28年4月 1日  
至 平成29年3月31日

単位：円

科 目	金 額	
【売上高】		
設備貸貸収入		48,611,136
売上総利益		48,611,136
【販売費及び一般管理費】		
広告宣伝費	100,000	
通信費	83,145	
減価償却費	4,012,074	
賃借料	43,036,893	
事務用品費	5,055	
水道光熱費	92,593	
租税公課	101,954	
諸会費	48,000	
交際費	26,044	
雑費	1,057,519	48,563,277
営業利益		47,859
【営業外収益】		
受取利息	66	
受取配当金	7,000	
雑収入	1,319,801	1,326,867
【営業外費用】		
支払利息割引料		77,428
経常利益		1,297,298
税引前当期純利益		1,297,298
法人税等		206,000
当期純利益		1,091,298

【平成29年度】

## 貸借対照表

平成30年3月31日現在

単位：円

資 産 の 部		負 債 の 部	
科 目	金 額	科 目	金 額
<b>【流動資産】</b>	<b>【 10,725,783 】</b>	<b>【流動負債】</b>	<b>【 1,186,018 】</b>
現 金	8,768	未 払 法 人 税 等	206,000
預 金	10,717,015	前 受 金	92,050
<b>【固定資産】</b>	<b>【 86,750,758 】</b>	預 り 金	265,668
(有形固定資産)	( 36,600,758 )	未 払 消 費 税	622,300
建 物	6,437,871	<b>【固定負債】</b>	<b>【 6,205,000 】</b>
建 物 附 属 設 備	1,863,132	長 期 借 入 金	6,205,000
構 築 物	28,262,671	負 債 合 計	7,391,018
工 具 器 具 備 品	37,084		
(投資その他の資産)	( 50,150,000 )		
出 資 金	150,000	純 資 産 の 部	
差 入 保 証 金	50,000,000	<b>【株主資本】</b>	<b>【 90,085,523 】</b>
		資 本 金	86,000,000
		(利益剰余金)	( 4,085,523 )
		繰越利益剰余金	4,085,523
		純 資 産 合 計	90,085,523
資 産 合 計	97,476,541	負 債 及 び 純 資 産 合 計	97,476,541

【平成29年度】

## 損益計算書

自 平成29年4月 1日

至 平成30年3月31日

単位：円

科 目	金 額	金 額
【 売 上 高 】		
設 備 賃 貸 収 入		48,611,136
売 上 総 利 益		48,611,136
【 販 売 費 及 び 一 般 管 理 費 】		
広 告 宣 伝 費	137,038	
通 信 費	82,689	
修 繕 費	477,600	
減 価 償 却 費	3,707,737	
賃 借 料	43,059,115	
事 務 用 品 費	3,345	
水 道 光 熱 費	92,593	
租 税 公 課	90,242	
諸 会 費	75,400	
交 際 費	5,963	
雑 費	1,150,291	48,882,013
営 業 損 失		△ 270,877
【 営 業 外 収 益 】		
受 取 利 息	88	
受 取 配 当 金	7,000	
雑 収 入	1,223,133	1,230,221
【 営 業 外 費 用 】		
支 払 利 息 割 引 料		44,660
経 常 利 益		914,684
税 引 前 当 期 純 利 益		914,684
法 人 税 等		206,000
当 期 純 利 益		708,684

## 2 監査の結果及び意見

監査の対象としたサンガタウン城陽は、平成9年(1997年)10月9日に設立され、株式会社京都パープルサンガ(以下「パープルサンガ」という。)に施設設備の賃貸収入や施設内の看板設置収入等を主な収入として、事業の展開を行ってきたところであるが、パープルサンガからの全面借り受けの申し入れを受けた平成23年(2011年)4月以降、事業規模が縮小され、設備賃貸事業のみを実施している。

サンガタウン城陽が所有する施設設備には、サッカー練習場及び駐車場その他関連する付帯施設、付随建物（クラブハウス、倉庫、管理棟）、ユース用サッカー練習場1面、フットサルコート3面及び観覧席・大会用スペース、フットサルクラブハウス、調整池駐車場、看板設備があり、パープルサンガと設備賃貸事業にかかる契約を締結している。

平成30年（2018年）1月16日から5年間、主な土地、付随建物、付帯施設についての土地賃貸借契約の更新を行っており、サンガタウン城陽の経営状況に対し、安定した事業収入が図られたことから、一定の成果が得られている。

今回監査を実施した平成27年度から平成29年度までの財務状況については、良化の傾向にあるが、平成29年度損益計算書では、販売費及び一般管理費が売上高を上回り営業損失となっている。損失となった主な要因は、前年度にはなかった臨時的な費用の修繕費である。

このことから、単年度の収支状況をみると、脆弱な財務構造であることが見うけられる。

平成30年度には、京都サンガF.C. ユースグラウンド建設にかかる市からの貸付金の返済が完了、また、金融機関からの借り入れに対する市からの事業費補助金も全額返済が見込まれており、財務に与える負担の軽減が図られるが、建設から約20年を経過する施設設備を抱えている。

今後において、経営基盤の計画的な強化を図り、安定した事業経営に努められるよう望むものである。

なお、指摘事項等については、次のとおりである。

#### 【サンガタウン城陽】

ア サンガタウン城陽は平成9年の設立後、約20年が経過しており、施設設備の老朽化が見うけられる。

今後において、老朽化の進展により大規模修繕（改修）費用の増加が見込まれるので、計画的な維持管理が欠かせない。

このため、優先すべき修繕箇所を的確に把握し、適切で効率的な施設管理を行うための検討を図られたい。

イ 銀行勘定帳、金銭出納帳では訂正されている箇所があり、訂正印がなかった。また、支出伝票では支払方法（勘定科目）に記載漏れが見うけられた。

適正に事務処理をされたい。

#### 【教育委員会事務局 文化・スポーツ推進課】

ア サンガタウン城陽への指摘事項等については、引き続き指導されたい。

イ 市の関与が、サンガタウン城陽の年1回の株主総会・取締役会と限られた機会となっている。今後において、健全な経営に向けて出資者として可能な範囲で指導、助言、また、計画的、長期的な視点からの支援体制の在り方について検討されることを望むものである。

ウ 第4次城陽市総合計画においても、京都サンガF.C.の支援について、施策の展開を行うとしている。

サンガタウン城陽に関連して、亀岡市に建設中の「京都スタジアム（仮称）」が2020年開業予定であるなど、京都サンガF.C.を取り巻く環境にも変化が生じている。

施策の展開にあたっては、京都サンガF.C.及びパープルサンガの動向について、引き続き情報収集をお願いしたい。